

衆議院環太平洋パートナーシップ協定等に関する特別委員会ニュース

平成 28. 10. 27 第 192 回国会第 8 号

10 月 27 日（木）、第 8 回の委員会が開かれました。

1 環太平洋パートナーシップ協定の締結について承認を求めるの件（第 190 回国会条約第 8 号）

環太平洋パートナーシップ協定の締結に伴う関係法律の整備に関する法律案（内閣提出、第 190 回国会閣法第 47 号）

- ・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）東京大学大学院農学生命科学研究科教授

鈴木 宣 弘 君

横浜国立大学名誉教授

大妻女子大学名誉教授

田 代 洋 一 君

NPO 法人アジア太平洋資料センター共同代表

内 田 聖 子 君

明治大学法学部兼任講師

NPO 法人日本消費者連盟元共同代表

山 浦 康 明 君

- ・両案件審査のため、北海道に派遣された委員を代表して菅原一秀君から、宮崎県に派遣された委員を代表して森山裕君から、それぞれ報告を聴取しました。
- ・安倍内閣総理大臣、岸田外務大臣、塩崎厚生労働大臣、山本農林水産大臣、世耕経済産業大臣、松本国务大臣、石原国务大臣、田中国土交通副大臣、滝沢外務大臣政務官及び政府参考人に質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

升 田 世喜男君（民進）

- ・輸入米の売買同時契約（SBS）方式での取引が国産米の価格決定に与える影響について、鈴木参考人はどのように考えているか。
- ・非農業者の中に、我が国の農業が過度に保護されているとの意見があることについて、鈴木参考人及び田代参考人はどのように考えているか。
- ・我が国の農業が、輸出に特化するのではなく、内需の拡大を志向することについて、鈴木参考人はどのように考えているか。

斉 藤 和 子君（共産）

- ・政府が、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定を契機とした「攻めの農林水産業」の実現を推進していることについて、鈴木参考人及び田代参考人はどのように考えているか。
- ・韓米自由貿易協定（FTA）の発効に伴う韓国農業の変化について、鈴木参考人及び田代参考人はどのように考えているか。
- ・我が国の農業の現状に鑑みた TPP 協定の発効に伴う影響及び本来なされるべき対策について、鈴木参考人及び田代参考人はどのように考えているか。

篠 原 孝君（民進）

- ・TPP 協定による食の安全への影響に関する米国内の消費者側の意見について内田参考人に伺いたい。
- ・WTO・SPS（衛生植物検疫）協定の内容と比較した場合、TPP 協定の SPS 措置の問題点について山浦参考人の見解を伺いたい。
- ・遺伝子組換え食品については予防原則で厳しく制限すべきという考えについて山浦参考人の見解を伺いたい。

斉 藤 和 子君（共産）

- ・産業界のロビー活動の影響を受ける TPP 協定は、一体誰のためにあるものなのか内田参考人及び山浦参考人の見解を伺いたい。
- ・TPP 協定により可能な限り物品の到着後 48 時間以内に引取りを許可することが義務付けられることに関し、食の安全についてどのような点が懸念されるのか山浦参考人の見解を伺いたい。
- ・遺伝子組換え食品の表示に関し米国の消費者の間でどのような運動が行われているのか内田参考人に伺いたい。

(政府に対する質疑)

宮川典子君(自民)

- ・TPP協定における食品安全に関するルールの運用について、安倍内閣総理大臣に伺いたい。
- ・酢酸メレンゲステロール(肥育ホルモン)の残留基準値について、我が国における基準が国際基準よりも緩やかな理由を塩崎厚生労働大臣に伺いたい。
- ・残留基準を超えた肥育ホルモンが含まれている食品を消費者が摂取する可能性について、松本内閣総理大臣に伺いたい。

岡本三成君(公明)

- ・TPP協定による我が国の経済波及効果は大きく、消費者たる国民は商品購入の選択肢が増えるなど、我が国全体で見るとメリットが大きいと思うが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・農業についての政府目標は、農産物の輸出額1兆円ではなく、農家の所得を向上させることと発信することが重要と考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・中小企業の海外展開についてJETROの専門家が支援を行う「新輸出大国コンソーシアム」において、専門家が相談者に対して上から目線にならないように指導すべきと考えるが、世耕経済産業大臣の見解を伺いたい。

今井雅人君(民進)

- ・山本農林水産大臣が本委員会における強行採決に関する発言を行ったことについて、安倍内閣総理大臣はどのように考えているか。
- ・SBS米に係る業者間の金銭やりとりの問題の調査結果について、農林水産省の報告書と新聞で報じられている内容が異なるのはどういった理由によるものか。
- ・SBS米取引の実態を解明するために農林水産省による調査で作成された聞き取りメモ等を公表すべきではないか。

福島伸享君(民進)

- ・SBS米に関する日本農業新聞及び毎日新聞の記事に対する山本農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・SBS米に関する農林水産省の調査について、輸入米の取引価格を何社に対し調査したのか。
- ・農林水産省に調査をやり直させる必要性について、安倍内閣総理大臣はどのように考えるか。

村岡敏英君(民進)

- ・SBS米について、有資格卸業者から無資格卸業者への名義貸しの実態を調査する必要があるのではないか。
- ・SBS米に関する農林水産省の調査をやり直すことに対する安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・現在の我が国の農業は輸出だけでは持続することができず、輸出の強化は段階的に行う必要があると考えるが、農産物輸出強化に対する安倍内閣総理大臣の認識を伺いたい。

笠井亮君(共産)

- ・医薬品及び医療機器に関する日米間のサイドレターにおいて、「あらゆる事項(関連する将来の保険医療制度を含む。)について協議する用意がある」としている意味について、塩崎厚生労働大臣に伺いたい。
- ・ISDS手続により国際仲裁が行われた件数及び具体的事例について、外務省に伺いたい。
- ・北米自由貿易協定(NAFTA)におけるISDS手続による仲裁件数及びそのうち米国企業が提訴した件数・うち勝訴した件数について、外務省に伺いたい。

丸山穂高君(維新)

- ・食料自給率は平成12年以降5年ごとに目標が設定されているが、一度も目標が達成されていない理由及び目標が達成できない理由が食料自給率の算出式にあるのではないかと考えについて、山本農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・所有者不明の土地の増加は安全保障上のみならず食料安全保障上からも問題だと考えるが、安倍内閣総理大臣の見解を伺いたい。